

自閉症スペクトラム トピックセミナー in 旭川

今年度のセミナーは「行動上の問題を示さざるを得ない自閉症者への支援」がテーマです。分科会では成人期のケースに焦点を当てて実践報告していただきます。児童期を経て、人生において心身ともに充実する時期といえる成人期をどのように過ごすか、さまざまな取り組みを通じて「その人らしく生きる」ことをサポートしている様子を伺うことで、これまでの実践を振り返り、新たな支援のヒントを探す機会に出来ればと思います。

多くのみなさんのご参加をお待ちしております。

講師メッセージ

様々な方法が開発され実践されているはずの行動障害への支援は、必ずしも進んだとは言えない現状があります。そこには「支援者も環境の一部」という考えではなく、経験と思い込みの世界があるからなのではないかと考えます。

このセミナーが「支援」と呼ぶにふさわしい知識と技能を得られる機会になるよう一緒に学んでいきたいと思っています。

講師 澤 月子 氏 プロフィール

大阪府・京都府の特別支援学校教諭、京都市発達障害者支援センター「かがやき」の副センター長、短大非常勤講師、社会福祉法人 南山城学園スーパーバイザーなどを経て、現在は NPO 法人 発達障害サポートセンターピュアをはじめ京都市南部障害者地域生活支援センター「ふかくさ」や不登校や引きこもりになどに取り組んでいるNPO法人「若者と家族のライフプランを考える会」に関わっている。

➤ 日 時 令和 7年11月8日(土) 10:00~16:30

➤ 会 場 旭川市障害者福祉センター おびった

旭川市宮前1条3丁目3番7号 Tel0166-45-0750

➤ 定 員 150名 参加費無料 申込締切 令和7年10月10日(金)

➤ 主 催 旭 川 市

➤ 実施主体 社会福祉法人 北海道療育園
障害者支援施設 つつじの里

プログラム

10:00	開催挨拶・オリエンテーション
10:30	講 演：『行動障害に“なる？する？”～支援の最前線を探る』 澤 月子氏
12:00	昼 休 憩
13:00	分科会(成人期A)：コーディネーター 澤 月子 氏 報 告：『表出と理解のコミュニケーション支援を通してhappyな人生に向かって』 行動上の問題を示さざるを得なくなった方に対し、成人期から関わりを持った実践の報告を行います。 PECS®で“伝える”を育み、1日のスケジュールやカレンダーなどの構造化で“わかる力”を支え、表出コミュニケーションと理解コミュニケーションの両輪の支援により行動の安定につなげた過程をまとめました。 生活介護から家庭・短期入所グループホーム・行動援護へ支援をつなぎ、親なき後を見据えた「ご本人の、HAPPYな人生」を実現することを目標とした継続的取り組みについて事例を中心に報告します。 栗田 英治 氏（NPO法人 発達障害サポートセンター ピュアファクトリー 管理者） 森井 隆人 氏（NPO法人 発達障害サポートセンター あすかファクトリー 管理者）
	分科会(成人期B)：コーディネーター 夏目 智志 氏(NPO法人 地域生活支援ネットワーク きらり 支援専門員) 報 告：『行動障害のある方の受入れと支援過程～今後の展開を含めて』 高等部を卒業後、他の生活介護事業所を利用するものの、チャレンジング行動が表出したことにより対応が難しくなったため、当事業所の取組みに期待してこられた方への実践です。事前情報や行動観察記録、作業等の課題分析を行い、特性や学習スタイル、本人の機能レベルなどを明らかにしてスケジュールやワークシステムを提示することで一時的に落ち着きましたが、再度チャレンジング行動が表出。コミュニケーションサンプルや冰山モデルを使い行動の背景を分析、再評価し、支援を見直した経過と今後の展開について報告します。 尾藤 寿 氏（NPO法人 地域生活支援ネットワーク きらり サービス管理責任者 ）
15:00	休 憩 (移 動)
15:20	総括ディスカッション：コーディネーター 寺尾 孝士 氏（ハローENJOY研修所 所長） 澤 月子 氏 夏目 智志 氏
16:30	閉 会

【 お申し込み方法 】

※ 入力フォームによるお申し込み

右のQRコードか下記URLからの入力フォームに情報を入力して送信してください

URL⇒ <https://x.gd/UqRtd>

※ E-mailによるお申し込み

下記のセミナー専用メールアドレスに件名を「令和7年度自閉症スペクトラムトピックセミナー申込」として、本文に「メールアドレス」、「お名前」、「所属団体等」、「電話番号」を記載して送信してください

E-mail⇒ topic@hokuryo.or.jp



問い合わせ先

社会福祉法人北海道療育園 障害者支援施設つつじの里

支援課 吉田、篠原

E-mail topic@hokuryo.or.jp TEL 0166-52-2013

FAX 0166-52-2064